

## 【患者さま説明用】

### (和歌山県版) 早期肺がん術後診療地域連携クリティカルパス

#### 肺がん術後の経過観察について

●● ●● さん

計画策定病院 : ●●病院 呼吸器外科: ●● ●●

#### 【病気について】

- 1 術後病理病期(進行度)は別にお話しします。
- 2 術後はかかりつけ医(連携医療機関)の先生と一緒に診させていただきますので、大体の予定を書いてあります。

#### 【術後補助化学療法について】

- 1 UFTの服用を2年間行います。
- 2 副作用の管理、減量、中止などの判断は、かかりつけ医の先生にお願いしています。

#### 【観察時期】

- 1 ほぼ標準的な観察時期を示してありますが、体調などによって多少変更します。
- 2 当院(計画策定病院)での次回の検査、受診の予定はこちらの病院で予約を取らせて頂いています。
- 3 その間の外来受診はかかりつけ医の先生にお願いしています。
- 4 5年を目標に頑張りましょう。
- 5 治療内容によっては来院期間を変更することもあります。

#### 【緊急時など】

緊急時には、かかりつけ医の先生の判断で、外科外来や救命救急センターに連絡をしてくれますので心配ありません。

#### 【検査】

血液検査, 胸部X線検査はかかりつけ医の先生にお願いしています。

#### 【全身検索】

- 1 6ヶ月から1年ごとの全身検索を当院にて予定しています。
- 2 検査予定については、経過表をご覧ください。

上記にかかわらず、症状がある場合は直ちに検査を予定します。かかりつけ医の先生にご相談して予約を取ってもらって下さい。

## 【調剤薬局説明用】

### (和歌山県版) 早期肺がん術後診療地域連携クリティカルパス

●● ●● さんの肺がん術後のUFT内服について

担当調剤薬局 様

この患者さんは、早期の非小細胞肺がんで手術を施行しました。  
術後補助化学療法として、UFTの服用を2年間行います。  
地域連携クリティカルパスに基づき、がん診療連携拠点病院等(計画策定病院)とかかりつけ医(連携医療機関)の先生で連携をとって治療を行います。  
副作用の管理、減量、中止などの判断は、連携医療機関の先生にお願いしています。

この患者さんのUFTの初回の処方量は、●●mg/日にしています。  
初回投与のみ、計画策定病院で処方しています。  
下記の目安に従い、投与量の調整をお願いしています。

#### 【UFT投薬調整の目安】

UFT内服でよく見られる副作用は、食欲不振、全身倦怠感、肝機能障害、貧血などです。

内服続行に支障のある副作用が出た場合、下記を目安に投薬の調整をお願いしています。

軽度(Grade 1)の場合は続行に支障はないと思われませんが、患者さんが続行の不安を訴えられるようであれば、1~2週間休薬し、副作用の消失を確認した後、少し減量(-1錠程度)して再開し、1ヶ月程度で問題なければ、もとの量に戻して慎重followとします。服用量に戻して再び副作用が出るようであれば、減量して続行してください。

中等度(Grade 2)の場合、2~4週間休薬し、副作用の消失を確認した後、減量(2/3~1/2)して再開して下さい。以降、副作用が出ないかどうか、慎重にfollowしてください。

Grade 3以上の副作用が出た場合は、服用中止です。以降の対応につき、計画策定病院の担当医にご相談下さい。

計画策定病院 : ●●病院 呼吸器外科: ●● ●●

## 【連携医療機関説明用】

### (和歌山県版)早期肺がん術後診療地域連携クリティカルパス

#### 肺がん術後の経過観察について

##### 【患者さんへの説明】

- 1 病理病期(別記)についてはお話してあります。
- 2 術後はかかりつけ医(連携医療機関)の先生と一緒に連携して診させて頂きたい旨、説明させて頂きました。

##### 【観察時期】

- 1 ほぼ標準的な観察時期を示してありますが、病態によって多少の変更を致します。
- 2 計画策定病院への次回の再診予約はこちらで取らせて戴きます。
- 3 観察期間は一応5年を目標と致します。
- 4 再発時などでは病態・治療方法により、直ちに変更致します。

##### 【緊急時など】

- 1 緊急時・再発時などには何時でも外来・救命救急センターにて対処致します。  
ご連絡下さい。

##### 【UFTの内服について】

- 1 術後2年間UFTの内服を行う予定です。
- 2 内服は開始しておりますので、以降の管理をお願いします。
- 3 血液検査、胸部X線検査を添付表のごとくをお願いします。
- 4 腫瘍マーカーもお願い出来ましたら幸いです。  
術前陽性のマーカーは報告申し上げます。  
CEA, CYFRAを標準とし、陽性なら1-3ヶ月、陰性なら6ヶ月位で検査しています。
- 5 計画策定病院受診時には血液検査も施行します。

##### 【全身検索】

6ヶ月から1年ごとの全身検索を計画策定病院にて予定しています。  
検査予定については、経過表をご覧ください。

上記にかかわらず、症状がある場合は何時でもご紹介賜りましたら、可及的すみやかに検査を行い報告申し上げます。

##### 【UFT投薬調整の目安】

UFT内服でよく見られる副作用は、食欲不振、全身倦怠感、肝機能障害、貧血などです。

内服続行に支障のある副作用が出た場合、下記を目安に投薬の調整をお願いします。

軽度(Grade 1)の場合は続行に支障は無いと思われませんが、患者さんが続行の不安を訴えられるようであれば、1~2週間休薬し、副作用の消失を確認した後、少し減量(-1錠程度)して再開し、1ヶ月程度で問題なければ、もとの量に戻して慎重followとします。服用量を戻して再び副作用が出るようであれば、減量して続行してください。

中等度(Grade 2)の場合、2~4週間休薬し、副作用の消失を確認した後、減量(2/3~1/2)して再開して下さい。以降、副作用が出ないかどうか、慎重にfollowしてください。

Grade 3以上の副作用が出た場合は、服用中止です。以降の対応につき、計画策定病院の担当医にご相談下さい。